



六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 5. 18

No. 7

子ども達のパワー全開の運動会！

13日の運動会には、たくさんの保護者の皆さんやご家族、地域の方々が来校くださり、本当にありがとうございました。天気も午後に多少雨がぱらつく程度で済み、無事プログラムを終えることができました。前回お伝えしたように、今回の運動会はたくさんの改善を行いました。その改善がすべてよい方向に向かったことはうれしい限りです。そして何よりもすばらしかったのは、6年生を中心とした子ども達が「自分たちの運動会」として、主体的に一生懸命取り組んでくれたことです。

1 リーダーとしての6年生の在り方

運動会を通して、これまで以上に6年生のリーダー性を育てようと考え、新たな取組に挑戦しました。下の写真は、運動会前に6年生が士気を上げている場面です。全員で円陣を組んだり、各色の組長が肩を組んだりして健闘を誓い合いました。私も各色の団長と組長と固い握手を交わし、一生懸命応援する気持ちを確認しました。

下の段は応援合戦の様子です。これまでも代々応援合戦が行われ、よき伝統となっています。6年生は恥ずかしい気持ちを封じ込めて、自分の色が1位になれるようありったけの声やパフォーマンスでがんばっていました。その姿を見ていると、本当の6年生になってきたなと感じさせられました。



円陣を組んで



組長同士声をかけ



固い握手



立派な選手宣誓



2 地域と一体になった運動会を目指して

新しい種目の「幼児のお菓子拾い」「老人クラブや祖父母の玉入れ」は大いに盛り上がりました。お菓子拾いは、お菓子の詰め合わせを50袋用意していましたが、あまりにもたくさんの参加があったために、袋を破ってバラにして対応しました。「玉入れ」には35人ほどが参加くださいました。六郷老人クラブの高橋会長さんから、「当初は10人の予定だったが、20人も来てくれることになった。」とうれしいお知らせでした。参加くださった方から、帰り際に、「とても楽しかった。」と声をかけてもらいました。



3 心をこめた応援

6年生の応援のすばらしさは言うまでもありませんが、5年生以下の子ども達の応援の姿も目を見張るものがありました。自分たちの色の応援のために、6年生がいなくても積極的に前に出て応援の声を張り上げる姿がたくさん見られました。中には、2・3年生でも団長のように振りを入れて応援する子もいました。これは、本番までの色別応援練習で、6年生の姿を見てきたからでしょう。そのがんばりが、こうやって本番では下級生の気持ちの表れにつながっていきます。



では、芸走等の写真をお楽しみください。



「新しい色別リレー」

今年から3～6年生が色別でリレーをする競技が始まりました。私は緑組で6年生の中の5番目に走りました。3・4年生の緑組がとっても足が速くて、最初に1～2位でした。最後に5・6年生が走りました。3・4年生がリードしてくれたおかげで、ダントツ1位でした。うれしかったです。運動会最後で思い出に残ることなので、1位になってうれしかったです。

「大きな声でスッカリ！」

応援は練習でたくさんしました。でも本番では、練習よりも2倍くらい大きな声が出ていてびっくりしました。ならば方がちょっとぐちゃぐちゃになっていて心配だったけれど、大きな声を出してくれていたのが良かったです。そして、本番前にたまっていた、心配でもやもやしていたのも、大きな声を出してストレス発散になった気がしました。最後の運動会で楽しめてよかったです。最高の思い出になりました。

運動会の内容を変えるのは、なかなか難しいものがあります。新年度が始まって間もないこと、準備が大変で変えるとなると手間がさらにかかること、4月に相談できる時間がないことなど、改善が難しいと思える要因しかありません。しかしながら、5月に運動会実施を決めたことで、学校では「すぐに内容を決めてしまわずに、何度も話合ってから決めよう。」と考えました。会議を何度か開く中で、新種目のアイデアが生まれ、さらには児童が主体的に運動に関われる工夫がなされました。

今回の改善は思った以上に、すべてうまくいったと思います。運動会そのものは楽しいです。しかし、その楽しさだけでなく、子ども達が人と関わる力を身に付けたり、地域の方とのつながりを生むことができたとしたら、運動会そのものの意義はさらに大きくなります。望ましい運動会の形に一步近づくことができた一日でした。